

# 平成 25 年度 決算報告

## ▼歳出決算額前年度比較 (目的別)

(単位：千円・%)

項目	平成 25 年度	平成 24 年度	差引き	伸び率
議会費	264,556	261,719	2,837	1.1
総務費	3,059,015	2,496,082	562,933	22.6
民生費	9,310,425	8,983,925	326,500	3.6
衛生費	2,133,479	2,160,061	▲26,582	▲1.2
労働・農林・ 商工費	301,220	304,343	▲3,123	▲1.0
土木費	1,712,919	1,511,416	201,503	13.3
消防費	772,715	854,182	▲81,467	▲9.5
教育費	2,228,962	2,199,145	29,817	1.4
公債費	1,091,454	1,132,831	▲41,377	▲3.7
諸支出金	1,495	1,322	173	13.1
歳出合計	20,876,240	19,905,026	971,214	4.9

## 一般会計歳出

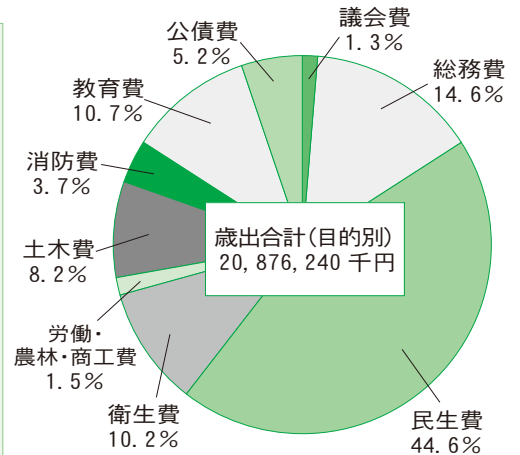
歳出総額は、2008億7624万円で、前年度に比べて9億7121万円(4.9%)の増となりました。

西多摩衛生組合負担金や下水道事業会計繰出金などが減額となる一方で、庁舎耐震改修等工事などの普通建設事業費、私立保育園運営費や障害福祉サービス費などの扶助費が増額となり、前年度に比べて増加しました。

## 1人あたりに換算してみると…

一般会計歳出決算額2008億7624万円を、平成26年4月1日現在の住民基本台帳人口5万6732人で除すと、市民1人あたり36万7980円となります。

- 総務費(コミュニティの振興や行政運営) : 5万3921円
- 教育費(学校教育や文化、スポーツの振興) : 3万9289円
- 衛生費(市民の健康を守ることやごみ処理などに) : 3万7606円
- 土木費(道路や公園、市街地の整備) : 3万193円
- 公債費(市が借り入れた市債などの返済) : 1万9239円
- 消防費(火災や地震などの災害に備えて) : 1万3621円
- 労働・農林・商工費(産業振興や消費者行政) : 5310円
- 議会費(議会の運営) : 4663円
- 諸支出金(土地の取得などに) : 26円



## 性質別に見ると…

人件費や物件費などの性質別経費の主な対前年度比増減要因は次のとおりです。

人件費：委員等報酬や職員給の減少などにより減となりました。

扶助費：障害福祉サービス費や私立保育園運営費の増加などにより増となりました。

構成比(26.8%)では、歳出決算総額の4分の1以上を占めました。

物件費：住民情報システム開発委託料やワクチンなどの医薬材料費の増加などにより増となりました。

補助費等：国民体育大会実行委員会補助金の増加などにより増となりました。

繰出金：後期高齢者医療会計、介護保険事業会計、羽村駅西口土地区画整理事業会計への繰出金が増加したことなどにより増となりました。

投資的経費：庁舎耐震改修等工事、栄小学校防音機能復旧(機器取替)工事などにより増となりました。

その他

繰出金

補助費等

物件費

公債費

扶助費

投資的経費

その他

人件費

歳出合計(性質別) 20,876,240千円

繰出金

補助費等

物件費

公債費

扶助費

投資的経費

その他

人件費

歳出合計(性質別) 20,876,240千円

繰出金

補助費等

物件費

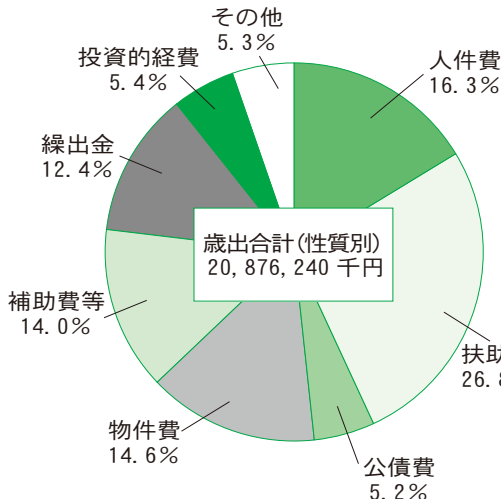
公債費

扶助費

## ▼歳出決算額前年度比較 (性質別)

(単位：千円・%)

項目	平成 25 年度	平成 24 年度	差引き	伸び率
人件費	3,401,678	3,423,782	▲22,104	▲0.6
扶助費	5,604,854	5,504,454	100,400	1.8
公債費	1,091,454	1,132,831	▲41,377	▲3.7
物件費	3,049,667	2,968,240	81,427	2.7
補助費等	2,923,349	2,867,197	56,152	2.0
繰出金	2,583,472	2,581,139	2,333	0.1
投資的経費	1,123,127	707,077	416,050	58.8
その他	1,098,639	720,306	378,333	52.5
歳出合計	20,876,240	19,905,026	971,214	4.9



## 基金・市債など

### 基金

家庭でいう「貯金」にあたります。

平成25年度末の一般会計の基金残高は、50億2445万円で、前年度に比べて1億3390万円の増となりました。

市では、今後も年度間の財源調整や計画事業の実現に向けて、基金の安定的な確保に努めていきます。

### 市債

家庭でいう「借金（ローン）」にあたります。

単年度の歳入では賄いきれない大規模な建設事業を行う場合などに、国や金融機関などから借入れを行い、長期間にわたり返済する制度で、将来、これらの施設を利用する人にも公平に負担（後世代負担）していただく目的も含まれています。

平成25年度末の一般会計の市債残高は、103億1517万円で、前年度に比べて9057万円の減となりました。

市では、長期的な視点に立ち、計画的な借入れを行い、健全な財政運営に努めていきます。

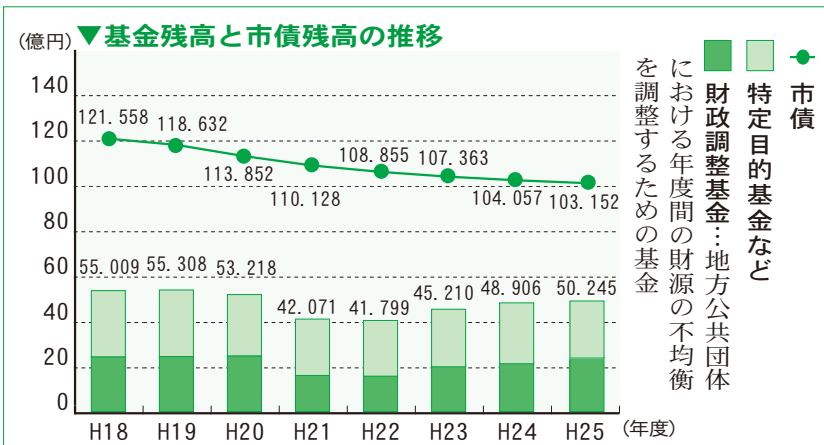
### 一時借入金

平成25年度は一時借入れを行っていませんでした。

### 市民一人あたりの額は…

基金と市債の残高を市の人口（平成26年4月1日現在の住民基本台帳人口5万6732人）で除すと、

○基金 8万8565円  
○市債 18万1823円 となります。



## 特別会計

設置している5つの特別会計では、各会計とも適切な予算執行により、黒字決算となっています。

(単位：千円)

### 平成25年度特別会計の決算状況

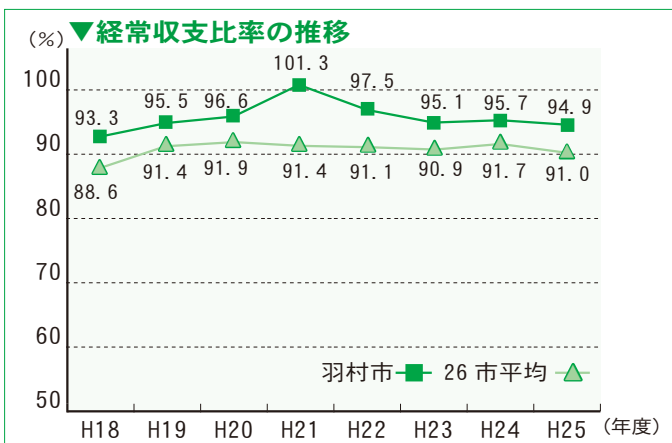
区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引き
国民健康保険事業会計	6,925,646	6,628,366	297,280
後期高齢者医療会計	887,970	870,875	17,095
介護保険事業会計	2,662,136	2,593,900	68,236
羽村駅西口土地区画整理事業会計	399,942	355,338	44,604
下水道事業会計	1,225,110	1,212,128	12,982

## 財政指標の状況

主な財政指標は次のとおりです。

### 経常収支比率

財政の弾力性を示す指標です。人件費や扶助費、公債費などの経常的経費



に、市税などの経常的に収入される一般財源がどのくらい充当されるかを表す比率です。この数値が高くなると、財政の弾力性が失われると言われていきます。また、独自の行政サービスを多く行っている場合などは、この数値が高くなる傾向にあります。

平成25年度は前年度に比べて0.8ポイント低下し、94.9%となっています。多摩地区26市の平均は91.0%で、羽村市は低い方から22番目です。

今後も行財政改革を推進し、比率の改善に努めていきます。